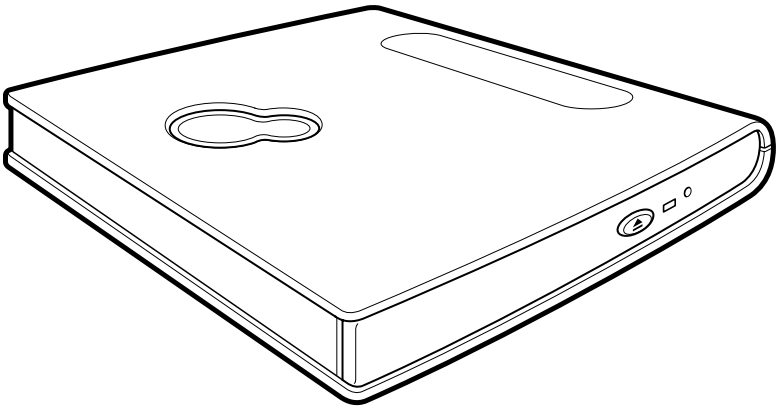


TOSHIBA

CD-R/RWドライブ-B

取扱説明書

上手に使って上手に節電



保証書別添付

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

安心してお使いいただくために

お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。




本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本書は、必要なときにすぐに参照できるように、本製品のそばなどお手元に置いてご使用ください。




お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

表示の意味

 危険	“誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う危険が、差しせまって発生する可能性があること”を示します。 <small>じゅうしょう</small>
 警告	“誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること”を示します。 <small>じゅうしょう</small>
 注意	“誤った取り扱いをすると人が傷害* ¹ を負う可能性、または物的損害* ² のみが発生する可能性のあること”を示します。 <small>しょうがい</small>
<small>しょうがい</small> * 1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。 <small>ちりょう</small> * 2：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。	

図記号の意味

	この図記号は危険（警告、注意含む）を促す事項を示しています。具体的な警告内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
	この図記号は必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

免責事項について

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置（ハードディスク、CD など）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

- ・ 本製品の保証条件は、同梱されている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- ・ 本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

目次

目次	2
安全上のご注意	4
ご使用上のお願い	10
使用環境	16
はじめに	17
本書の読みかた	19
付属品一覧	20
使用できる CD	21
CD-R と CD-RW について	22
各部の名称	23
ご使用になる前に	27
ご使用方法の確認	27
モードスイッチの設定	28
CD-R/RW に書き込む前に	28
書き込み／削除を行うときは	30
書き込みエラー防止 (BURN-Proof) 機能	30
電源を入れる	31
電源を切る	32

接続	33
PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプタ、電源コードの接続	33
ドライバのインストール	34
Windows Me/98 の場合	34
Windows 2000 の場合	36
Windows XP の場合	40
取りはずし	42
CDのセットと取り出し	43
セット方法	43
取り出し方法	44
再生	45
再生の停止	45
パソコンを初期状態に戻す	46
お手入れについて	47
廃棄について	48
困ったときは	49
仕様	53
修理サービスについて	56

安全上のご注意

●本体、ACアダプタ、PCカード、インターフェースケーブルの取り扱いについて

⚠ 警告

もし、異常な臭いがしたり、異常音がしたり、過熱、発煙したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜け

分解・改造・修理しないこと

火災、感電、故障、ケガのおそれがあります。

修理は、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。

本製品を分解した場合、保証やその他のサービスは受けられません。



分解禁止

もし、落としたり、強い衝撃しょうげきを与えたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



電源プラグを
コンセントから抜け

航空機内で使用するときには航空会社の指示に従うこと

指示に従わず使用すると、運航装置えいきょうに影響を与え、事故につながるおそれがあります。



強制

通電中の本体やACアダプタにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

内部の温度が上がリ、火災、故障のおそれがあります。



禁止

必ず、本製品付属のACアダプタを使用すること

本製品付属以外のACアダプタを使用すると、電圧や(+) (-)の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発煙のおそれがあります。



強制

ACアダプタを落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災、故障、感電のおそれがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け

梱包に使用しているビニール袋をお子様がかぶって遊んだりしないように、注意すること

窒息のおそれがあります。



強制

取りはずした小さな部品（カバー、キャップ、ネジなど）は、小さなお子様の手の届かないところに置くこと

誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



強制

東芝純正品じゆんせいひん以外のアプリケーションソフトを使用する場合は、本製品でじゆんせいひん使用可能かどうかを、取り扱い元に確認すること

東芝純正品じゆんせいひん以外のアプリケーションソフトが原因で発生した損害（お客様へのケガ、財産への損害および本体の故障によるデータの消失など）については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。



注意

⚠ 注意

近くにコップ、花瓶など、液体の入った容器を置かないこと
液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。万一本体内部に入った場合は、電源を切って、ACアダプタを抜き、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



禁止

ふる場など、水がかかったり、湿気の多いところに置かないこと

感電のおそれがあります。



水場での禁止

ステーブル、クリップなどの金属類を内部に入れないこと

ショートし、発煙、発火のおそれがあります。



禁止

屋外での突然の雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用しないこと

雨、きりが付着して、火災、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。



禁止

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

落ちたり、たおれたりしてケガをするおそれがあります。



禁止

本体に長時間素肌が直接触れないようにすること

長時間電源を入れていると、本体の表面や底面が熱を帯びます。本体に長い間触れていると、低温やけどになるおそれがあります。肌の弱い方は、特にご注意ください。



禁止

アプリケーションソフトの動作中に電源を切らないこと

データ消失のおそれがあります。



禁止

本製品を持ち運ぶ場合は、必ず、ACアダプタを取りはずすこと

ACアダプタを取り付けたまま持ち運ぶと、コネクタ部分に無理な力が加わり、故障のおそれがあります。



強制

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意すること

耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。



注意

インターフェースケーブル、ACアダプタを接続したり、取りはずす場合には、必ず本体の電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業すること

電源を入れたまま接続すると、感電、故障のおそれがあります。



強制

必ず、本製品付属のPCカード、インターフェースケーブルを使用すること

故障、誤動作、作成データの消失の原因となります。

本製品付属以外のPCカードやケーブルを使用して発生した損害（お客様へのケガ、財産への損害および本体の故障によるデータの消失など）については、当社では責任を負いません。あらかじめご承知ください。



禁止

本体のディスクトレイを閉める場合は、指をはさまれないように注意すること

ケガのおそれがあります。



接触禁止

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
また、この装置のレンズ（ふたの内側）に触れたり、レンズを直視しないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

●電源コードの取り扱いについて

⚠警告

電源コードを取り扱うときは次の点を守ること

- | | |
|-------------|------------------|
| ・傷つけない | ・加工しない |
| ・コードをつぎ足さない | ・無理に曲げない |
| ・ねじらない | ・引っ張らない |
| ・物を乗せない | ・机、家具などを乗せてつぶさない |
| ・ドアなどにはさまない | ・加熱しない |
| ・熱器具に近づけない | ・クギやステーブルで固定しない |



禁止

守らないと、火災、感電、やけどのおそれがあります。もし、電源コードが傷ついたときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに依頼してください。

電源コードは、電気用品安全法に適合した本製品付属の電源コードを使用すること

それ以外の電源コードを使用すると、火災のおそれがあります。



強制

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃すること

そのまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。
長時間使用しないときはコンセントから抜き、ほこりが付着しないように保管してください。



強制

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災、感電のおそれがあります。



強制

電源プラグは AC100V コンセントに差し込むこと

それ以外のコンセントに差し込むと、火災のおそれがあります。



強制

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしないこと
タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電のおそれがあります。



禁止

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないこと

コードが破損し、火災や感電のおそれがあります。電源プラグを持って抜いてください。



禁止

ぬれた手で、電源コードのプラグを抜き差ししないこと
感電のおそれがあります。



禁止

● CD の取り扱いについて

⚠ 注意

ひび割れ、変型、または接着剤などで補修した CD は使用しないこと

CD は本体内で高速に回転しますので、飛び散ってケガの原因となることがあります。



禁止

ご使用上のお願い

●本体、ACアダプタ、PCカード、インターフェースケーブルの使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、たんぽう暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。

故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

極端に低温になるところに置かないでください。

故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

急激な温度変化を与えないでください。

けつろ結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

雷が鳴っているときは使用しないでください。

故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。

故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

ほこりの多いところに置かないでください。

故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



禁止

しんどう振動が強いところに置かないでください。

故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。



禁止

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質、変形、変色の原因となります。



禁止

製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。

破損、故障の原因となります。



禁止

ACアダプタは、温度の影響を受けやすいものの上に置いて使用しないでください。

あとがつくことがあります。



禁止

PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてから取りはずしてください。

PCカードは、長時間使用していると熱を帯びる場合があります。



強制

PCカードの使用停止は必ず行なってください。

使用停止せずにPCカードを取りはずすと、システムが致命的影響を受ける場合があります。



強制

通電中、ACアダプタの表面温度が高くなる場合がありますが故障ではありません。

持ち運ぶときは、電源コードを抜き、温度が下がってから行ってください。



注意

動作中に本体を、移動したり持ち上げたりしないでください。特に書き込み動作中に振動や衝撃を与えないでください。

故障、誤動作、作成データの消失の原因となります。また、書き込み途中にエラーを発生させ、CDが使用不能になる場合があります。



禁止

CDに書き込みを行うときは、必ず接続しているパソコン本体のACアダプタを電源コンセントに接続してください。

接続しているパソコン本体をバッテリー駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗により、書き込みに失敗するおそれがあります。



強制

PCカードを、じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

静電気の影響でPCカードの部品が壊れるおそれがあります。



禁止

PCカードのコネクタ部に直接手を触れないでください。



禁止

PCカードをパソコン本体に取り付けたままの状態ですインターフェースケーブルの抜き差しはしないでください。



禁止

PCカードを水でぬらさないでください。



禁止

PCカードのソフトケースはプラスチックケース製品の上に長時間放置しないでください。

跡が残る場合があります。



禁止

インターフェースケーブルのコネクタ付近を、強く折り曲げたりしないでください。

断線や接触不良の原因になります。



禁止

● CDの使用環境、保管場所および取り扱いについて

CDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。

CD-R/RWドライブが故障したり、CDを読み込むことができなくなります。



禁止

CDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CDの上に重い物を置かないでください。

CDが変形し、CD-R/RWドライブの故障の原因となります。



禁止

CDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。

表面に指紋を付けると、正確にデータが読みとれなくなることがあります。



強制

CDのお手入れをするときは、ベンジン、シンナーなどの薬品は使用しないでください。

変質、変形、データの消失の原因となります。



禁止

本体を移動するときは、その前に必ずCDを取り出してください。



強制

大切なデータを守るため、CDは必ずケースなどに入れて保管してください。



強制

水がかかったり、湿気の多いところに置かないでください。

ぬれると使用できなくなったり、CD-R/RWドライブの故障の原因となります。



禁止

近くにコップ、花瓶など、液体の入った容器を置かないでください。

液体がこぼれてぬれると、使用できなくなったり、CD-R/RWドライブの故障の原因となります。



禁止

●縦置きスタンドの使用環境について

縦置きスタンドの使用に関して、次の点をお守りください。

- ・ ケーブル類を引っ掛けて本体を倒さないよう、安定した場所に設置する
- ・ ヘッドホンを使用する場合は縦置きにせず横置きで使用する
- ・ ディスクトレイが飛び出したときに、周囲とぶつからないように設置する
- ・ CD をセットする際に、ディスクトレイ裏面のメタルカバー部分を強く押さない

守らないと、本体転倒による故障や破損、性能低下、データの消失の原因になります。



強制

用途制限について

- 本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと

*1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。

- ・ 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・ 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・ 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置 など

- 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（*2）に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮（*3）が必要となるので、当社営業窓口に相談してください。

*2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。

（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）

（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

*3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・ブルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作人及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

連続運転について

長時間の（24時間を超えるような）連続運転をしないでください。本製品を使わないときは、電源を必ず切ってください。

ハードウェアの保証について

- ・保証書は、必ず内容をよく読み、必要事項を記入してください。その後、大切に保管してください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態であるにもかかわらず本製品が故障した場合は、無料で修理いたします。修理を依頼される場合には、必ず保証書をご提示ください。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいはお客様の無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。詳しくは、保証書をご覧ください。

使用環境

本製品は、国内向け仕様です。海外ではご使用になれません。

本製品を正しい使用環境でお使いいただければ、本製品の寿命を少しでも長くすることができます。

CD-R/RW ドライブ -B の置き場所

- ・ 温度は 5 ～ 35℃、湿度は 20 ～ 80% の環境にする
- ・ 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- ・ 暖房機具などの熱いものの近くには置かない
- ・ 腐食性の薬品のそばに置かない
- ・ ステレオスピーカなど、強い磁気を発するもののそばに置かない
そのまま使用するとデータが消失するおそれがあります。
- ・ 水平な場所に置く
- ・ 直射日光の当たる場所に置かない

はじめに

このたびは「CD-R/RW ドライブ-B」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本製品は、高性能（最大 8 倍速書き込み／最大 8 倍速書き換え／最大 24 倍速読み込み）とコンパクト（軽量／薄型）を特長とするクラス 1 レーザー製品準拠の CD-R/RW ドライブです。

本書は「CD-R/RW ドライブ-B」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管しておいてください。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Trademarks

- Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。
 - BURN-Proof は三洋電機株式会社の商標です。
 - BHA および B's Recorder は株式会社ビー・エイチ・エーの登録商標です。
- マニュアルに記載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

お願い

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容は、予告なしに変更することがあります。
- CDに記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。
- ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。

本書の内容について万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、東芝 PC IOS センター（巻末参照）までご一報ください。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本書の読みかた

記号の意味



警告 ・ “誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があること” を示します。



注意 ・ “誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生する可能性があること” を示します。



お願い

・ データの消失や、故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことです。



メモ

・ 知っておくと便利なことを説明しています。

☞ このマニュアルや他のマニュアルの参照先を示しています。

「このマニュアルの参照先」(XX ページ)

『他のマニュアルへの参照先』

(注) 補足説明をしています。

用語について

本書では次の用語について定義します。

本機 本製品「CD-R/RW ドライブ-B」を示します。

OS 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステムを示します。

Windows Me Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版を示します。

Windows 98 Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system 日本語版を示します。

Windows 2000 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版を示します。

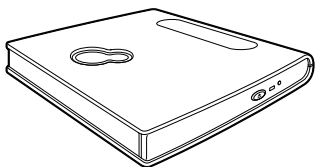
Windows XP Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版または Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版を示します。

付属品一覧

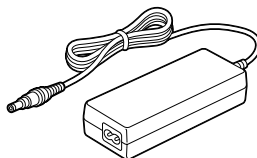
梱包箱から取り出したら、CD-R/RW ドライブ-B と次の付属品がそろっているか確認してください。

万一、不足しているものがあったり損傷しているものがあるときには、お買い上げの販売店にご相談ください。

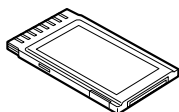
CD-R/RW ドライブ-B



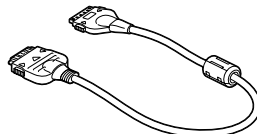
AC アダプタ



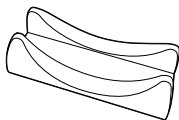
PC カード



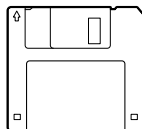
インターフェースケーブル



縦置きスタンド



セットアップディスク



- 電源コード
- 取扱説明書
- ソフトウェアパッケージ
- 保証書

使用できる CD

CD-R/RW ドライブ-B でお使いいただける CD は次のとおりです。

CDの種類	マーク
CD-R	
CD-RW	 
CD-ROM	
音楽CD	
CD Extra	 
フォトCD	
CD-i	



メモ

- ・ CD-R/RW ドライブ-B では円形 CD のみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型など）をした CD を使用すると、CD-R/RW ドライブ-B の故障の原因となります。
- ・ 4 倍速以上で CD-RW に書き込む際には、High Speed CD-RW メディアをご使用ください。

CD-RとCD-RWについて

CD-R/RW ドライブ-Bは、CD-RとCD-RWへの書き込みができます。これらのCDへの書き込みには、書き込み用ソフトウェアを使用します。

CD-Rとは

1度だけデータを書き込めるCDです。一度書き込まれたデータは消去することができません。CD-Rで音楽CDを作成したものは、一般のCDプレイヤーで再生することができます。

CD-RWとは

データを書き込んだり、消去することができるCDです。目安として、未使用のCD-RWで約1000回の書き換えができます。



メモ

- ・CD-RWメディアには1～4倍速対応のものと、4～10倍速対応のHigh Speed CD-RWメディアがあります。4倍速以上で書き込みをする場合は、High Speed CD-RWメディアを使用してください。4倍速以下で書き込みをする場合は、1～4倍速対応のメディアを使用してください。

CDの互換性について

CD-R/RW ドライブ-Bで作成したCD-RやCD-RWは、ほとんどのCD-ROMドライブで再生することができます。ただし、古いタイプのCD-ROMドライブにはCD-RWの再生に対応していない機種があります。また、使用するCD-R/RWドライブ、CD-R、CD-RWのメーカー間における品質や諸特性の差により、組み合わせによってはまれにCDの再生ができないことがあります。

書き込み速度について

CD-R、CD-RWへの書き込みは、CDに指定されている書き込み対応速度に設定して行ってください。書き込み速度の設定の変更は、書き込み用ソフトウェアで行います。

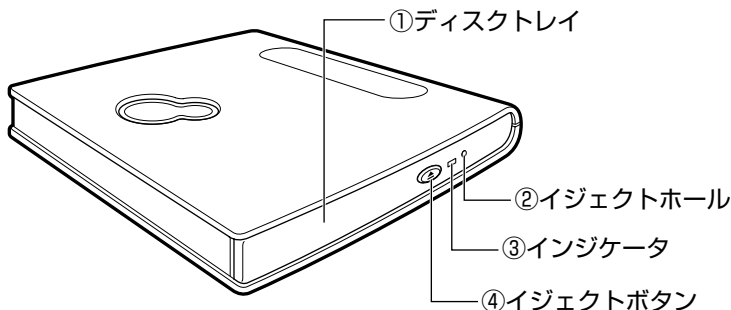


メモ

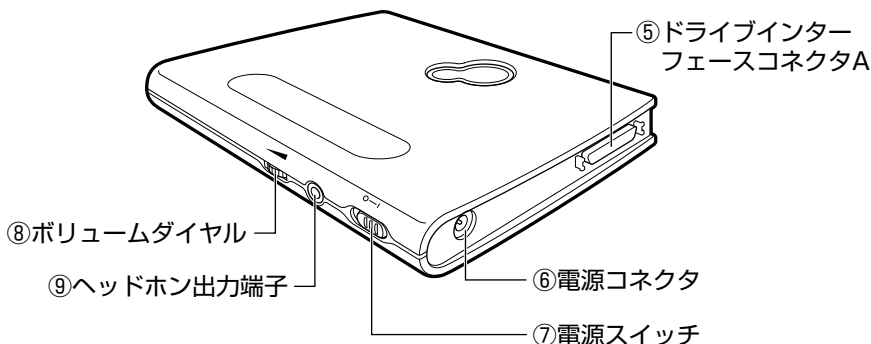
- ・80分以上のCDを使用しての書き込みおよび再生に対しては、品質を保証していません。

各部の名称

本体前面



本体背面



① ディスクトレイ

CD をセットするトレイです。

② イジェクトホール

電源が入っていないときは、このホールを先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してディスクトレイを引き出します。

③ インジケータ

ドライブの動作状態をオレンジ色の点灯で示します。なにか動作しているときは点灯し、データを書き込んでいるときは点滅します。

④ イジェクトボタン

ディスクトレイを引き出すときに押します。



・動作中に誤ってディスクトレイが出てくることを防ぐため、CD-R/RW ドライブ・B は電源イジェクト機構になっています。このため、電源が入っていないときは、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。また、アプリケーションの状況によっては、イジェクトボタンを押したあと、ディスクトレイが出てくるまで数秒かかることがあります。万一、イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこなくなったときは（書き込み中を除く）、イジェクトホールを先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押して、ディスクトレイを引き出してください。

⑤ ドライブインターフェースコネクタ A

付属のインターフェースケーブルを接続します。

⑥ 電源コネクタ

付属の AC アダプタを接続します。

⑦ 電源スイッチ

電源を入れたり切ったり（オン／オフ）するスイッチです。

⑧ ボリュームダイヤル

ヘッドホン出力端子から出力されるアナログオーディオの音量を調節します。

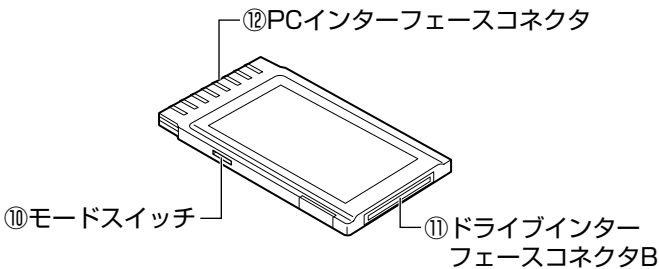
⑨ ヘッドホン出力端子（φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック）

ヘッドホンやアクティブスピーカを接続して使用します。



・電源を切るときにノイズ音が発生することがありますが、故障ではありません。電源を切るときは、ヘッドホンを取りはずしてください。

PC カード



⑩ モードスイッチ

PCカードの動作モード（CardBusモード/16bitモード）を切り替えるスイッチです。CardBusモードと16bitモードについては、「ご使用方法の確認」（27ページ）を参照してください。

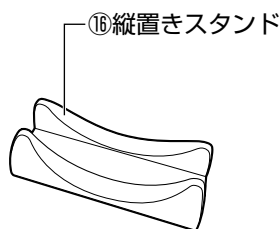
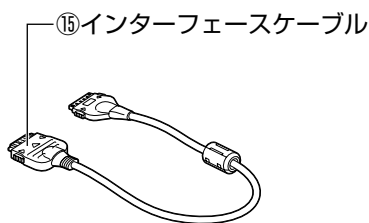
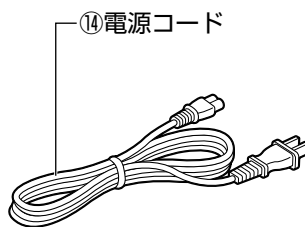
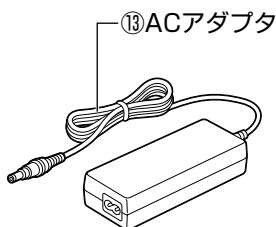
⑪ ドライブインターフェースコネクタ B

付属のインターフェースケーブルを接続します。

⑫ PC インターフェースコネクタ

パソコン本体に接続します。

付属品



⑬ ACアダプタ

電源コネクタに接続し、CD-R/RW ドライブ-B に電源を供給します。

⑭ 電源コード

電源コンセントから AC アダプタに電源を供給するケーブルです。

⑮ インターフェースケーブル

PCカードと CD-R/RW ドライブ-B を接続するケーブルです。



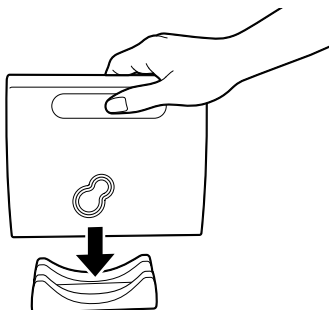
お願い

・PCカード、ACアダプタ、電源コード、インターフェースケーブルは、付属のもの以外は接続しないでください。

⑩ 縦置きスタンド

本製品は、立てて設置することができます。

図のように、縦置きスタンドにセットしてください。



お願い

- ・ 縦置きスタンドの使用に関して、次の点をお守りください。
 - ・ ケーブル類を引っ掛けて本体を倒さないよう、安定した場所に設置する
 - ・ ヘッドホンを使用する場合は縦置きにせず横置きで使用する
 - ・ ディスクトレイが飛び出したときに、周囲とぶつからないように設置する
 - ・ CDをセットする際に、ディスクトレイ裏面のメタルカバー部を強く押さない守らないと、本体転倒による故障や破損、性能低下、データの消失の原因になります。

ご使用になる前に

ご使用方法の確認

ご使用になる前に、本機の使用方法を確認してください。

ご使用の OS で使用できるモードは、次のとおりです。

		Windows Me	Windows 98	Windows 2000	Windows XP
16bit モード	CD-R/RWの 読み込み	○	○	○	○
	CD-R/RWへの 書き込み／書き換え	○	○	○	○
CardBus モード	CD-R/RWの 読み込み	○	○	○	○
	CD-R/RWへの 書き込み／書き換え	○	○	○	○

16bit モードで使用する

16bit モードでも使用できますが、CardBus モードでのご使用をおすすめします。

☞ 「接続」(33 ページ)

「ドライバのインストール (Windows Me/98 の場合)」(34 ページ)

「ドライバのインストール (Windows 2000 の場合)」(36 ページ)

「ドライバのインストール (Windows XP の場合)」(40 ページ)

CardBus モードで使用する

CardBus モードに対応しているパソコンをご使用の場合、高速なデータ転送を行う CardBus モードで使用できます。

CardBus モードに対応しているかどうかは、『ご使用になるパソコンの取扱説明書』で確認してください。

☞ 「接続」(33 ページ)

「ドライバのインストール (Windows Me/98 の場合)」(34 ページ)

「ドライバのインストール (Windows 2000 の場合)」(36 ページ)

「ドライバのインストール (Windows XP の場合)」(40 ページ)

パソコンを初期状態に戻す

16bit モードで使用します。

☞ 「パソコンを初期状態に戻す」(46 ページ)

モードスイッチの設定

PCカード

接続する前に、PCカードの転送モードを設定します。
PCカードのモードスイッチは、先の細いもので移動してください。
出荷時は、16bit に設定されています。

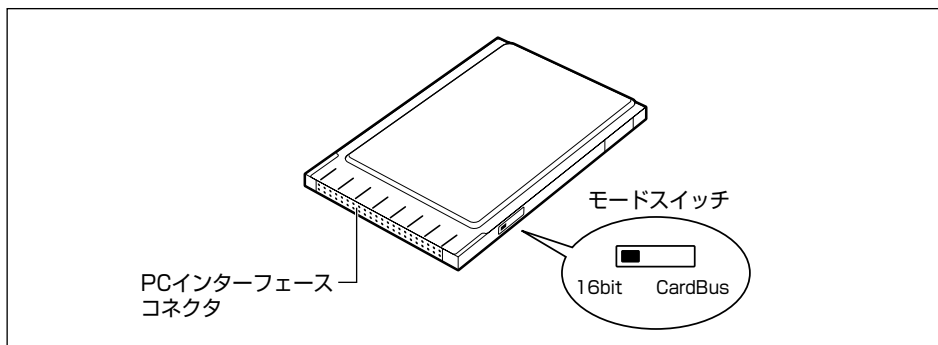
パソコンを初期状態に戻す、または16bitモードで使用する場合

16bit に設定してください。

CardBusモードで使用する

CardBus に設定してください。

PCカードのモードスイッチ




CD-R/RW に書き込む前に

CD-R/RW に書き込むためのソフトウェアとして、株式会社ビー・エイチ・イー社製「B's Recorder for Windows」と「B's CLiP」が同梱されています。
ソフトウェアの操作方法については、『ソフトウェアのマニュアルやヘルプ』を参照してください。

CD-R/RW に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえで使用ください。
守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。

書き込みに失敗したCD-R/RWの損害については、当社は一切その責任を負いません。
また、記憶内容の変化・消失など、CD-R/RW に保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



- 4倍速以上でCD-RWに書き込む際には、右図のようなマークのある High Speed CD-RW メディアをご使用ください。
- CD-Rに書き込む際には、8倍速対応CD-Rをご使用ください。
- 次のメーカーのCD-R/RWをご使用になることをおすすめします。
 CD-RW : TDK (2倍、4倍のみ)、三菱化学、リコー
 CD-R : TDK、コダック、太陽誘電、パイオニア、日立マクセル、
 富士写真フィルム、三井化学、三菱化学、リコー
 上記以外のメーカーのCD-R/RWを使用すると、うまく書き込みできない場合があります。
- パソコン本体には必ずACアダプタを接続して、電源コンセントに接続してください。パソコン本体をバッテリー駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗などにより書き込みに失敗するおそれがあります。
- スクリーンセーバなどCPUに負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。
- LANを経由しての書き込みは行わないでください。LANを経由する場合は、データをいったんご使用のパソコンのハードディスクに保存してから書き込みを行なってください。
- 本機以外のCD/DVDドライブからデータを読み込みながら、そのデータを本機に書き込むこと(オンザフライ書き込み)は、行わないでください。
 本機以外のCD/DVDドライブからデータを書き込む場合は、ご使用のパソコンのハードディスクにデータをいったん保存したあと、ハードディスクからコピーしてください。
- 「B's Recorder for Windows」「B's CLiP」以外のCD-R/RW書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
- 書き込みを行う際は、ご使用のパソコンの省電力機能が働かないようにしてください。
 省電力機能について ⇨ 『ご使用になるパソコンの取扱説明書』
- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。



・CD-Rに書き込みできるのは1回限りです。書き込みに失敗したCD-Rは再利用できません。

書き込み／削除を行うときは

- マウスポインタを動かす、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
- 本機やご使用のパソコンに衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PC カード、USB 対応機器、CRT ディスプレイ、PRT コネクタに接続する機器、i.LINK 対応機器、光デジタル対応機器、SD メモリカード、PS/2 コネクタに接続する機器
- 本機やパソコンから携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、必ず書き込み終了後、データが正しく書き込まれたことを確認してください。

書き込みエラー防止 (BURN-Proof) 機能

本製品はバッファアンダーランによる書き込みエラーを防止する「バーンプルーフ機能」を搭載しています。書き込みエラーを防ぐので、メディアを無駄にすることなく安全に書き込むことができます。

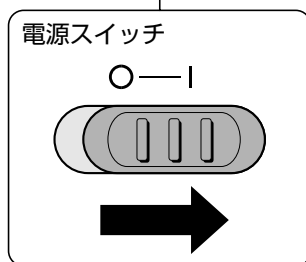
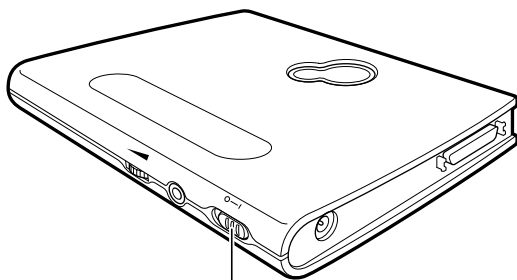
バーンプルーフ機能を無効にしてしまった場合は、次のように操作して、有効に設定してください。

購入時は有効に設定されています。

- ① [ファイル] → [環境設定] をクリックする
- ② [ドライブの設定] タブで [高度なドライブ設定] ボタンをクリックする
- ③ [転送速度エラー回避機能] をチェックする

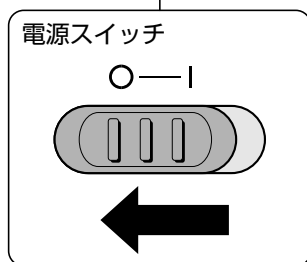
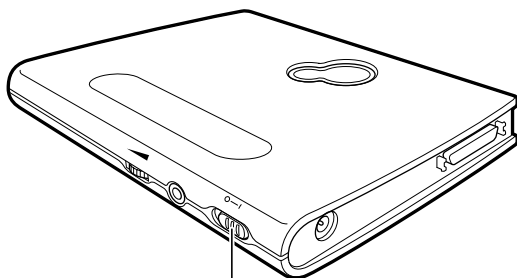
電源を入れる

- 1 本機の電源スイッチを「|」側にスライドさせる



電源を切る

- 1 本機の電源スイッチを「○」側にスライドさせる

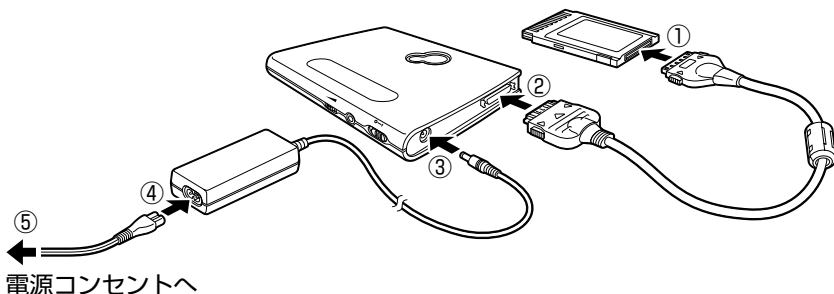


接続

PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプタ、電源コードの接続

- 1 本機の電源スイッチが「○」側になっていることを確認して、PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプタ、電源コードを接続する

次の図の①→②→③→④→⑤の順に接続してください。

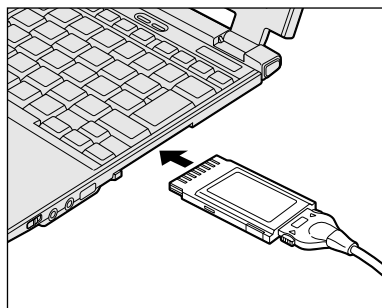


・PCカードは、まだパソコンに接続しないでください。

- 2 本機の電源スイッチを「|」側にスライドする

- 3 PCカードの表裏を確認し、表を上にしてパソコンに挿入する

カードは無理な力は加えず、静かに奥まで押し込んでください。きちんと奥まで差し込まれていない場合、PCカードを使用できない、またはPCカードが壊れる場合があります。



・PCカードはパソコンの電源がオンでもオフでも接続することができます。
・初めて本機を使用する場合は、パソコンにドライバをインストールする必要があります。OS (Windows Me/98/2000/XP) によって、PCカードをパソコンに接続する順番が異なります。

☞ 「ドライバのインストール」(34ページ)



・PCカード、ACアダプタ、電源コード、インターフェースケーブルは、付属のもの以外は接続しないでください。
本機やパソコン本体が故障したり、火災や感電、やけどのおそれがあります。
・本機を使用しないときは、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

ドライバのインストール

本機を使用する場合は、パソコンにドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストールには、同梱のセットアップディスクが必要です。あらかじめパソコン本体にフロッピーディスクドライブを取り付けておいてください。

Windows Me/98 の場合

- 1 フロッピーディスクドライブに同梱のセットアップディスクをセットする
- 2 [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。
- 3 [名前] に「A:¥DDSETUP.EXE」と入力し、[OK] ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



- 4 [インストール] をチェックして、[OK] ボタンをクリックする
転送モードを選択する画面が表示されます。



5 転送モードを選択して、[OK] ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



6 [OK] ボタンをクリックする

これで、ドライバの設定は完了です。

7 PC カードをパソコン本体へ接続する

パソコン本体への接続については、『ご使用になるパソコンの取扱説明書』を参照してください。



メモ

- ・ PC カードがパソコンに認識されない場合は、パソコンから PC カードを取りはずして、もう 1 度接続してください。
- ・ 次の画面が表示されることがあります。



その場合は、次の操作でインストールを続けてください。
セットアップディスクをセットする必要はありません。

① [OK] ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



② [スキップ] ボタンをクリックする

Windows 2000 の場合

1 PC カードをパソコン本体へ接続する

パソコン本体への接続については、『ご使用になるパソコンの取扱説明書』を参照してください。



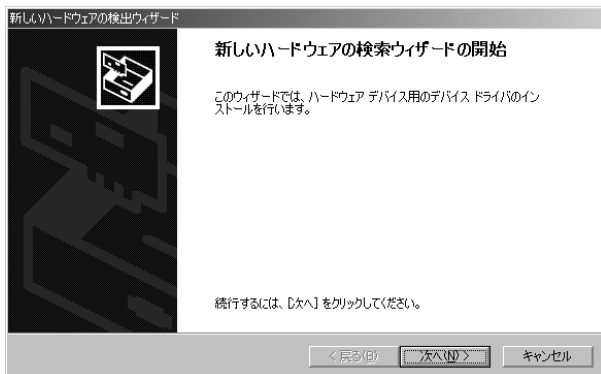
・PC カードがパソコンに認識されない場合は、パソコンから PC カードを取りはずして、もう 1 度接続してください。

16bit モードの場合

自動的に OS の標準のドライバがインストールされるので、ドライバの設定は完了です。

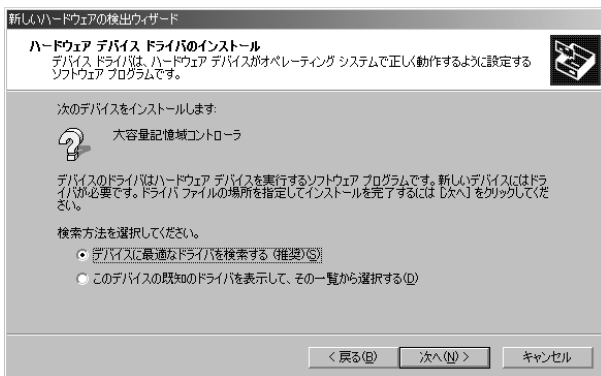
CardBus モードの場合

PC カードをパソコン本体に接続すると、自動的に設定がはじまり、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。



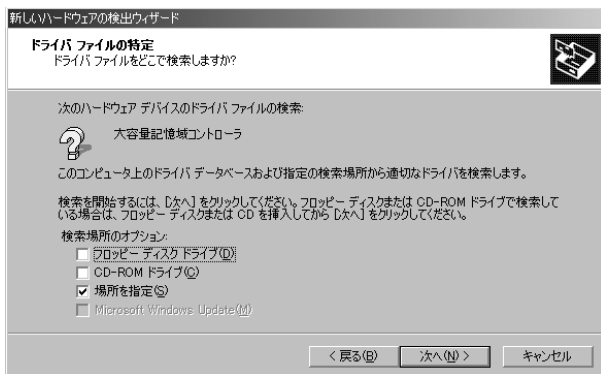
2 [次へ] ボタンをクリックする

検索方法を指定する画面が表示されます。



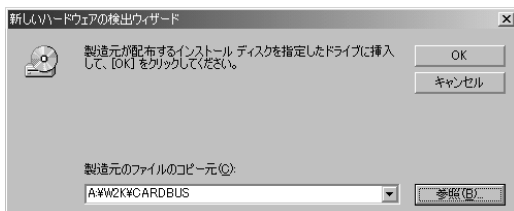
3 [デバイスに最適なドライバを検索する] をチェックして、[次へ] ボタンをクリックする

検索場所を指定する画面が表示されます。



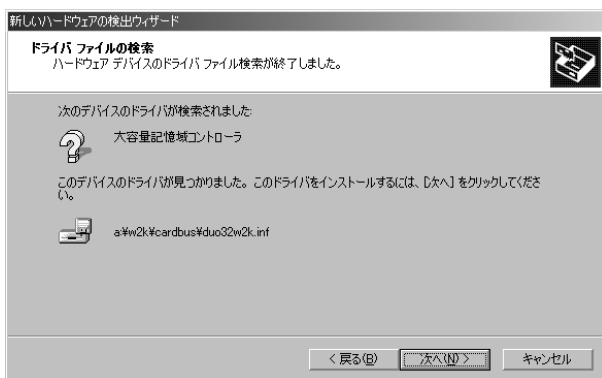
- 4** [場所を指定] がチェックされていることを確認し、フロッピーディスクドライブに同梱のセットアップディスクをセットし、[次へ] ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



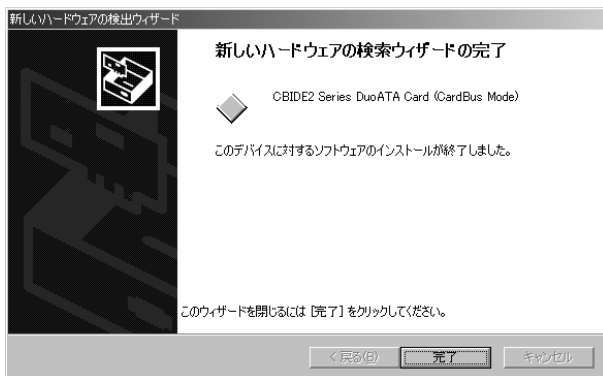
- 5** 「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥W2K¥CARDBUS」と入力し、[OK] ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



6 [次へ] ボタンをクリックする

ドライバのコピーがはじまり、しばらくするとインストール完了の画面が表示されます。



・次の画面が表示されることがありますが、使用上問題はありません。[はい] をクリックし、インストールを続けてください。



7 [完了] ボタンをクリックする

これで、ドライバの設定は完了です。

Windows XP の場合

1 フロッピーディスクドライブに同梱のセットアップディスクをセットする

2 PC カードをパソコン本体へ接続する

パソコン本体への接続については、『ご使用になるパソコンの取扱説明書』を参照してください。



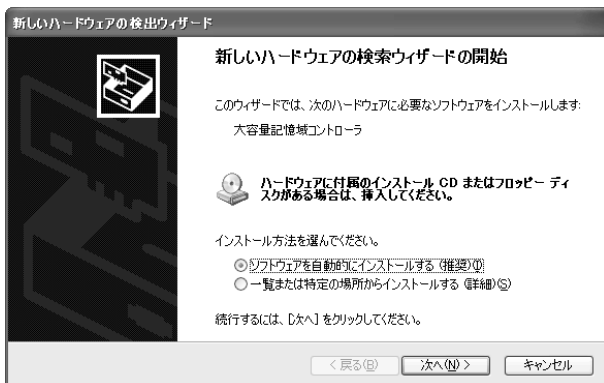
・PC カードがパソコンに認識されない場合は、パソコンから PC カードを取りはずして、もう 1 度接続してください。

16bit モードの場合

自動的に OS の標準のドライバがインストールされるので、ドライバの設定は完了です。

CardBus モードの場合

PC カードをパソコン本体に接続すると、自動的に設定がはじまり、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。



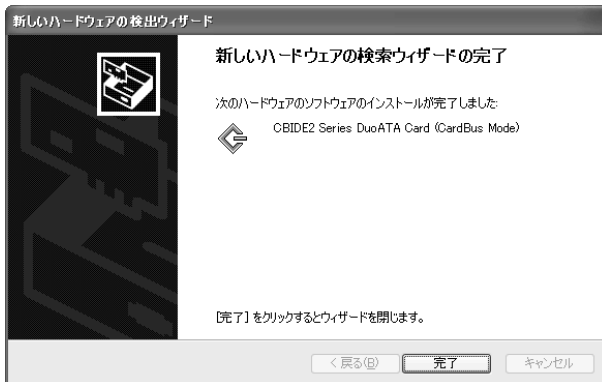


・次の画面が表示されることがありますが、使用上問題はありません。[続行] をクリックし、インストールを続けてください。



3 [次へ] ボタンをクリックする

ドライバのコピーがはじまり、しばらくするとインストール完了の画面が表示されます。



4 [完了] ボタンをクリックする

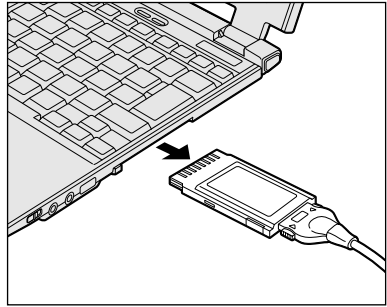
これで、ドライバの設定は完了です。

取りはずし

取りはずすときは、次の手順で行なってください。

① パソコン本体からPCカードを引き抜く

パソコン本体からのPCカードの取りはずし方法は、『ご使用になるパソコンの取扱説明書』を参照してください。



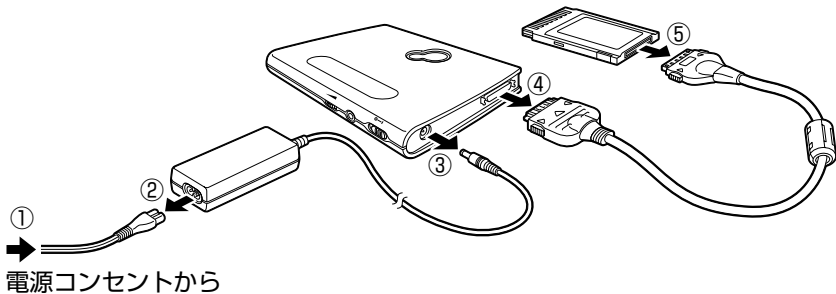
・PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてから取りはずしてください。

PCカードは、長時間使用していると熱を帯びる場合があります。

② 本機の電源スイッチを「○」側にスライドする

③ PCカード、インターフェースケーブル、ACアダプタ、電源コードを取りはずす

次の図の①→②→③→④→⑤の順に取りはずしてください。



・インターフェースケーブルを取りはずす際は、コネクタの両側のタブを押しながらまっすぐゆっくりと引き抜いてください。

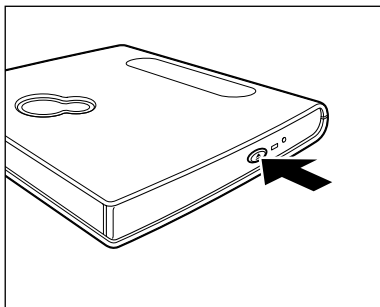
CDのセットと取り出し

セット方法

1 本機の電源スイッチが「|」側になっていることを確認する

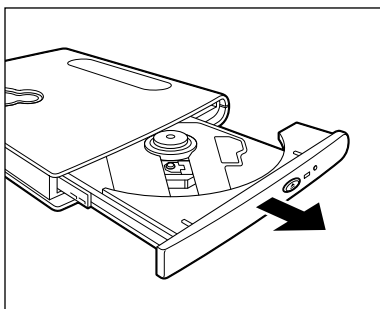
2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



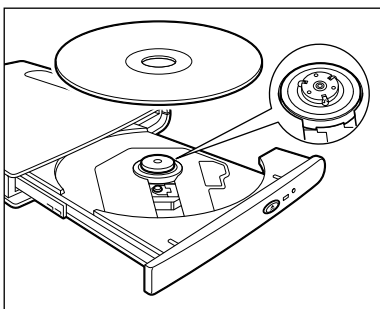
3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせる面がすべて出るまで、引き出します。

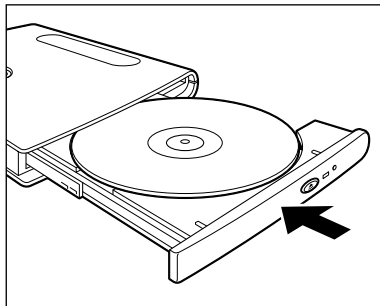


4 文字が書いてある面を上にして、CDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする

「カチッ」と音がして、セットされていることを確認してください。



5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



お願い

- ・CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- ・CDを正しくディスクトレイにセットしないとCDを傷つけることがあります。



メモ

- ・傷付いたり汚れのひどいCDの場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
- ・CDの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

取り出し方法

1 本機の電源スイッチが「|」側になっていることを確認する

2 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせる面がすべて出るまで、引き出します。

4 CDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

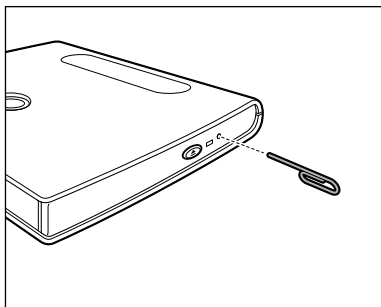
ディスクトレイからCDを取り出します。

CDを取り出しにくいときは、中央凸部分を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



- ・電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、イジェクトホールを先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押ししてください。ディスクトレイが出てきます。



- ・電源を入れ、インジケータが点滅しなくなったことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。

再生

CD をセットすると、自動的にアプリケーションが起動します。
 起動したアプリケーションのヘルプを参考に操作してください。
 CD の再生音を聞くためには、パソコンのスピーカまたは本機のヘッドホン出力端子をお使いください。



- ・再生中に本機を動かさないでください。CD を傷つける原因となります。



- ・アプリケーションが起動しない場合は、それぞれの CD に付属の説明書などを参照してください。

再生の停止

起動したアプリケーションのヘルプを参考に操作してください。

パソコンを初期状態に戻す

何らかの障害によって、パソコン本体のハードディスクの内容が壊れてしまった場合、初期インストールソフトウェアの復元により、ご購入時の状態に戻すことができます。

🔍 詳細について ⇨ 『ご使用になるパソコンの取扱説明書』



お願い

・復元する前にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。

ハードウェア構成を変更している場合は、パソコンをご購入時の状態に戻してから、初期インストールソフトウェアの復元を行なってください。

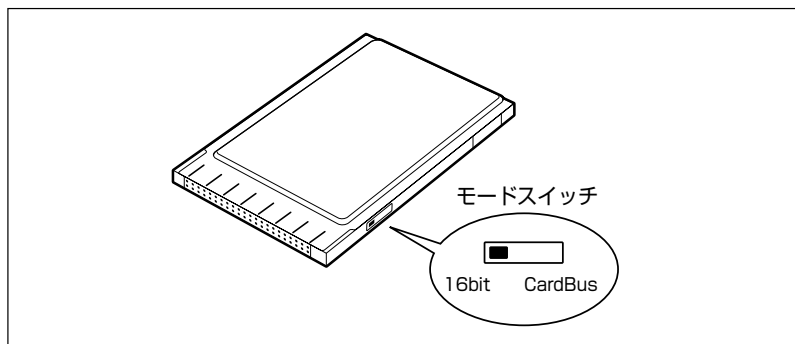
通常、本機を使用するにはドライバのインストールが必要ですが、パソコンを初期状態に戻す場合は必要ありません。



メモ

・パソコンを初期状態に戻すためには、PCカードのモードスイッチを「16bit」に設定します。

モードスイッチが「16bit」になっていることを確認してください。



お手入れについて

本体の汚れ

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

レンズの汚れ

レンズが汚れて本機が正常に動作しなくなったときは、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

CDの汚れ

CDの汚れは乾燥した清潔な布で拭きとってください。円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。

汚れがひどいときは柔らかい布を水か中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

ベンジン、レコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDをいためますので使わないでください。

CD-R、CD-RWの汚れ

- CD-RやCD-RWは、データを記録する前には絶対にクリーナーで拭かないでください。ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。
- CD-RやCD-RWの未記録部分にキズやほこりがあると正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

(本製品のプリント基板の製造に使用するはんだには、鉛が含まれています。)

● 企業でご使用のお客様へ

本製品を破棄するときは、産業廃棄物として扱われます。

東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。

使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

東芝パソコンリサイクルセンター

〒230-0034 神奈川県鶴見区寛政町20-1 株式会社テルム内

電話番号：045-510-0255

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：045-506-7983（受付時間：24時間）

困ったときは

ドライバの設定ができない

● パソコンに接続したのに、[新しいハードウェアの検出ウィザード] (Windows 2000 / XP) が表示されない

- ・ ケーブルが正しく接続されているか確認する
- ・ 本機の電源スイッチが「ON」側になっているか確認する
- ・ ACアダプタがコンセントに接続されているか確認する
- ・ [スタート] メニュー → [設定] → [コントロールパネル] → [ハードウェアの追加] でウィザードを起動して設定する

● パソコンにフロッピーディスクドライブがない、または外付けフロッピーディスクドライブを持っていない

- ・ ドライバはダウンロードが可能です。次の URL にアクセスしてください。

<http://www5.toshiba.co.jp/pcss/mc/>

※) 上記 URL は予告なく変更される場合があります。

本機がパソコンに認識されない

● 接続してすぐに使おうとした

- ・ パソコンでドライバの設定をする

● 設定を行なったが認識しない

- ・ PC カードのモードを確認する
- ・ 接続やケーブル、コネクタ類を確認する
- ・ ケーブル類やコネクタが曲がったり折れたりしている場合はお買い上げの販売店または保守サービスまでご相談ください。

● 接続したデバイスが認識されない

● デバイスマネージャで「！」マークが付く

- ・ デバイスマネージャ上で本機に「！」マークが付いている場合、リソースの競合が起こっている場合があります。リソースの競合を解消してください。
IRQ が競合している場合は、IRQ を解放するために、使用しないデバイス (COM、LPT ポートなど) をパソコン本体の BIOS セットアップで使用しない設定にする
IO ポートアドレスが競合している場合は、使用する IO ポートアドレスを変更する



- 「東芝 24 倍速 CD-ROM (PA2673UJ)」または「東芝 CD-R/RW ドライブ (PACDR002)」を使用していた
 - ・「東芝 24 倍速 CD-ROM (PA2673UJ)」または「東芝 CD-R/RW ドライブ (PACDR002)」用ドライバをインストールしているパソコンで本機をお使いになる場合は、次の手順でドライバをインストールしてください。
Windows Me/98 の場合
セットアップディスクから「DDSETUP.EXE」を実行してください。
Windows 2000/XP の場合
デバイスマネージャからドライバのアップデートを行なってください。



本機またはパソコン本体が正常に動作しない



- ケーブル類はしっかり接続されている

- ・ PC カードを接続し直す
- ・ PC カードのモードを確認する



- パソコンに接続して使用しているときに、CD をセットしても CD が回転しない

- ・ AC アダプタを接続し直す



- 添付のライティングソフトを使用していない

- ・ 本製品に添付されている「B's Recorder GOLD for Windows」を使用する



- データが読めない

- 音とびする

- ・ ラベル面を上にして CD を入れ直す
- ・ 使用できる CD か確認する
- ・ CD に傷があるおそれがあるので、他の CD に取り替え、動作するかどうか確認する
- ・ 結露しているおそれがある場合は、CD を取り出して 1 時間ほど放置する



- 音が間延びする

- ・ 一度再生を中断し、もう一度再生する



- 音が途切れる

- ・ 他のアプリケーションソフトを終了する



●音楽 CD の音が聞こえない

- ・ヘッドホン出力端子にプラグを接続し直す
- ・ボリュームダイヤルで音量を調整する
- ・音量調節機能のあるヘッドホンの場合は、ヘッドホンの音量調節をする
- ・パソコンの設定によっては、本機のヘッドホン出力端子からは音が出ない場合があります。(このときでもパソコン本体からは音が出ます)。パソコンの設定を「デジタル再生が無効」に変更してください。



書き込みができない



●BURN-Proof が機能していない

- ・BURN-Proof を有効にする



●8 倍速で書き込みするのにメディアが High Speed CD-RW 対応ではない

- ・High Speed CD-RW メディアを使用する



CD-RW ディスクのデータを消去したが、書かれた跡が見える



●問題なし

- ・CD-RW ディスクは 1 度書き込みされると、消去しても書き込んだ跡が残ります。



テレビ、ラジオに障害が出る



●テレビ、ラジオの調子がおかしい

- ・インターフェースケーブルに同梱のケーブルコアを取り付ける
- ・テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
- ・テレビ、ラジオに対するパソコンの方向を変える
- ・テレビ、ラジオから離す
- ・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
- ・コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
- ・受信機に室外アンテナを使う
- ・平衡フィーダを同軸ケーブルに替える



異常や故障の場合



● 異常な臭いや過熱に気づいた

- ・ 電源を切り、AC アダプタを抜く

● 異常や故障が発生した

- ・ 次のところに連絡してください

- ・ お買い上げの販売店

それでもわからない場合は、

- ・ お近くの保守サービス

ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- ・ 使用している機器の名称「CD-R/RW ドライブ-B」
- ・ 使用しているパソコンの名称
- ・ その他に接続している機器の構成
- ・ 使用している OS とバージョン
- ・ ご購入年月日
- ・ 現在の状態（できるだけ詳細にご連絡ください）

仕様

インターフェース		PCMCIA Type II (CardBus/16bitモード対応)、ATAPI準拠
ドライブ機能	書き込み速度 (CD-R)	最大8倍速
	書き換え速度 (CD-RW)	最大8倍速
	読み出し速度	最大24倍速
記録	対応ディスク	12cm、700MBディスク対応
	対応フォーマット (*1)	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD EXTRA、Mixed Mode CD、CD-I
	記録方式	ディスクアットワンス、トラックアットワンス、パケットライト
再生	対応ディスク	8cm、12cm
	対応フォーマット (*2)	CD-ROM、CD-ROM XA、CD-DA、CD EXTRA、Mixed Mode CD、Photo CD、CD-I
オーディオ機能 (*3)		ヘッドホン出力端子 (φ3.5mmステレオ・ミニジャック)、ボリュームダイヤル
電源		ACアダプタ (AC100~240V、50/60Hz) 標準添付
外形寸法／質量	ドライブ部	約141 X 171 X 22mm (突起部除く) / 約460g
	PCカード部	約86 X 54 X 5mm / 約30g
	インターフェースケーブル	約450mm / 約40g (ケーブルコア除く)
	ACアダプタ	約93 X 40 X 27mm / 約150g (ケーブル長 約1000mm)
対応書き込み用ソフトウェア		B's Recorder GOLD for Windows B's CLiP
対応OS		Windows Me Windows 2000 Windows 98 Windows XP
対応機種		東芝ホームページ (http://dynabook.com) でご確認ください。
ドライブ設置方法		水平置き／縦置き両用

(*1) 書き込み用ソフトウェアによって対応フォーマットは異なります。

(*2) 各CDの再生には再生ソフトが必要です。また、CD-Iの再生にはMPEG再生用ビデオカードなどが必要な場合があります。

(*3) ヘッドホン出力端子またはパソコン本体のスピーカで再生できます。

この度は弊社「CD-R/RW ドライブ-B」(以下本製品とします)をお買い上げいただきありがとうございます。本製品には下記のソフトウェア製品(以下許諾ソフトウェアとします)が同梱されておりますが、許諾ソフトウェアをご使用いただく前に下記エンドユーザーライセンス契約書をあらかじめお読みください。お客様による許諾ソフトウェアの使用開始をもって、下記エンドユーザーライセンス契約書にご同意いただいたものとしてします。

許諾ソフトウェア*以外の同梱ソフトウェアについては、各ソフトウェアの使用契約書をあらかじめお読みください。それら同梱ソフトウェアについては、当該ソフトウェアの権利者とお客様の間で契約をご締結いただくものとし、お客様の当該ソフトウェアの使用に関連して生じた一切の損害(第三者との知的財産などの紛争問題も含まれますが、それらに限られるものではありません)については弊社は一切の責任を負わないものとしてします。

* 許諾ソフトウェアとはセットアップディスクに収録されているソフトウェア一式のことです。

エンドユーザーライセンス契約書

本契約は、お客様(以下使用者とします)と弊社(以下東芝とします)との間での許諾ソフトウェアの使用権の許諾に関して合意するものです。

第1条(総則)

東芝は、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的かつ譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条(使用権)

1. 本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、許諾ソフトウェアがインストールされるパーソナルコンピュータにおいてのみ、使用者がソフトウェアを使用する権利を言います。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。

第3条(譲渡等の禁止)

1. 使用者は、東芝の事前の文書による承諾なくして前条に規定する使用権を第三者に譲渡し、もしくはその他の方法で使用させてはならないものとしてします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をすることはしないものとしてします。
3. 使用者は許諾ソフトウェアに関し逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとしてします。

第4条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、東芝または東芝が許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾された原権利者（以下原権利者とします）にあるものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用权以外の権利を有しないものとし、

第5条 (東芝の免責)

東芝は、使用者が本契約に基づき許諾された使用权を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。

第6条 (第三者に対する責任)

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、東芝および原権利者に一切の迷惑をかけないものとし、

第7条 (秘密保持)

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、東芝の承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとし、

第8条 (契約の解除)

東芝は、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求することができるものとし、

(1) 本契約に定める条項に違反したとき

(2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条 (許諾ソフトウェアの廃棄)

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとし、その旨を証明する文章を東芝に差し入れるものとし、

第10条 (その他)

本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合は、東芝、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとし、

修理サービスについて

- 異常や故障が発生したら、次の①～③の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。
 - ①使用している機器の名称
 - ②ご購入年月日、ご購入先
 - ③現在の状態（できるだけ詳細に）
- 保障期間中の修理については、保証書の記載事項により、無料修理いたします。
- 保障期間経過後の修理については、「お客様ご相談窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理とさせていただきます。（修理に換わって同等品と交換させていただくことがあります。）
- 海外での修理サービスについて
本装置の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。
- 修理依頼される場合のお願い
 - ・修理は SENDBACK でのみお受けいたしております。
お持込での修理はお受けいたしておりません。
 - ・お送りいただく場合の送料、梱包費用は保障期間の有無を問わずお客様のご負担となります。
 - ・保障期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
 - ・保障期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。
 - ・修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール箱（本装置の梱包箱、梱包材を推奨します）に入れて、破損しないようにご注意のうえ、お送りください。

送付先

東芝 PC IOS センター

〒261-8580 千葉県千葉市美浜区真砂 5-20-7 TOPS ビル 4F

TEL 043-278-5970

FAX 043-278-9035

アイオーエス
東芝 PC I OS センター

お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記窓口にて承っております。

◆ 受付時間 ◆

9:00～12:00 / 13:00～17:00

土曜、日曜、祝祭日、弊社指定休日を除く

TEL 043-278-5970

FAX 043-278-9035

e-mail ios@ieg.toshiba.co.jp

日本国内用です。

本機を使用できるのは日本国内のみです。

This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

CD-R/RW ドライブ -B 取扱説明書

2002年7月31日

A1 版発行

IPC045P20

発行 株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

PC 事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

<http://www5.toshiba.co.jp/pcss/>

IPC045P20

株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

PC事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

©2002 TOSHIBA CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED